

企業ニュース ニトリホールディングス

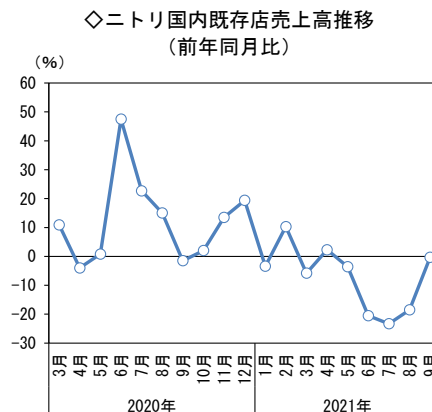
(東証1部: 9843) <https://www.nitorihd.co.jp/>

作成者: 高見澤晶子

海外展開加速、島忠とのシナジーに注目

家具・インテリア販売チェーン。22. 2期・第2四半期末のグループ店舗数は752店（国内674店、台湾38店、中国38店、米国2店）。22. 2期より海外展開を再加速する方針。注力する中国は新型コロナの影響を受けているものの、新店の売上高は計画を3~4割上回るなど好調が見られる。また、これまでのEC展開に加えて中国通販サイトT-m a l 1にも出店するなど、積極的な事業拡大を進めている。

2021年3月、家具・インテリア専門店やホームセンターを展開する島忠を完全子会社化。現在は島忠の利益率改善に向け、売場改装や品揃えの見直し、プライベートブランド商品の開発、経費削減を進めている。23. 2期にはこれらの取り組みの効果が表れよう。



(注) 通販事業を含む受注ベース
(出所) ニトリホールディングス資料よりCAM作成

原価低減、業務効率改善で営業利益は計画超過

22. 2期・第2四半期累計（2月21日-8月20日）の連結業績は、売上高が4,146億円、前年同期比14%増、営業利益が775億円、同4%減。計画比では売上高が199億円未達だった一方、営業利益は25億円上回った。ニトリ事業は前年同期比5%減収、同6%営業減益。前期の巣ごもり・テレワーク需要の急拡大の反動減、度重なる緊急事態宣言等や天候不順による外出控えなどが影響した。利益面では減収に加え円安による原価率悪化が影響したが、サプライヤーの集約など原価低減の取り組み、店舗業務や物流の効率化による経費抑制などが寄与し、減益幅を縮小した。なお、島忠事業は売上高が728億円、営業利益が21億円となった。

22. 2期の通期会社計画は、売上高が8,736億円、前期比22%増、営業利益が1,439億円、同5%増。ニトリの国内既存店売上高は前期比3%減を見込む。上期は前年同期比12%減と反動減の影響が大きく苦戦したが、下期はその影響が徐々に薄まるとみられる。利益面では引き続き原価率改善や経費抑制が効くほか、島忠の経費削減も寄与しよう。

[株価動向・投資判断]

短期的には島忠の収益性改善によるグループ全体での利益成長に期待したい。中長期では中国を中心とした海外展開の加速が注目されよう。

<9843 ニトリHD 業績: 日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
20. 2	642, 273 (6)	107, 478 (7)	109, 522 (6)	71, 395 (5)	635. 4	108. 00
21. 2	716, 900 (12)	137, 687 (28)	138, 426 (26)	92, 114 (29)	817. 0	123. 00
22. 2 予	873, 600 (22)	143, 900 (5)	146, 400 (6)	98, 600 (7)	873. 9	140. 00



[主要株価指標] (売買単位: 100株)	
株価 (2021/10/8)	20, 870 円
年初来高値 (高値日)	23, 055 円 (21/1/8)
同 安値 (安値日)	17, 650 円 (21/6/3)
予想 P E R (22. 2 予)	23. 9 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	6, 149. 7 円
P B R	3. 39 倍
予想配当利回り	0. 67 %
(1株当たり配当金 140. 00 円)	
R O E (21. 2)	15. 3 %
発行済み株式数	11, 444 万株